

令和6年度 評価規準

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

江戸川区立南小岩第二小学校

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
こえの大きさを かんがえて はなそう	2	◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。  ◎「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。	◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	◎「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	・進んで伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かしてすごくトークをしようとしている。
読書の ひろば②	1	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。  ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	・読書生活を振り返ったり、読みたい本を選んだりしている。
じゅんじょを考えて話そう	5	◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。  ◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。	◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。	・進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして夏休みのできごとを紹介しようとしている。
しを読もう	2	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。  ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している	◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	・すすんで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。

# 令和6年度 評価規準

<p>漢字のひろば③</p>	<p>2</p>	<p>◎第1学年においては、学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>○第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。</p>	<p>◎第1学年においては、学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>		<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって、二つの漢字でできている言葉を読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>一年生で学んだ漢字②</p>	<p>2</p>	<p>◎第1学年においては、学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>○第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>・積極的に文の中における主語と述語の関係に気づこうとし、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

<p>五 登場人物が考えていたことをそうぞうしよう</p>	<p>12</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。</p> <p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。</p>	<p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている</p>	<p>・学習課題にそって、進んで登場人物が考えていたことを、本文の言葉を根拠に想像しようとしている。</p>
<p>言葉のひろば④</p>	<p>2</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。</p> <p>○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。</p> <p>○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>		<p>・積極的に反対の意味をもつものや、似た意味をもつものがあることに気づこうとし、学習の見通しをもって言葉を使おうとしている。</p>
<p>六 まとまりのある文章を書こう</p>		<p>◎文の中における主語と述語との関係に気付くこと。</p> <p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。</p>	<p>◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。</p> <p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p>	<p>・他教科での学習や経験を関連させながら、事柄の順序にそって構成を考え、報告する文章を書いている。</p>

# 令和6年度 評価規準

<p>国語の学習 つながる ひろがる</p>	<p>1</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。</p> <p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。</p> <p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>		<p>・進んで経験したことから書くことを見つけ、今までの学習を生かして思い出したことや下巻の教科書でどんな学習をしたか共有しようとしている。</p>
<p>一 じゅんじよや様子をあらわす言葉に気をつけよう</p>		<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。</p> <p>◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。</p> <p>◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</p>	<p>・積極的に情報と情報との関係について理解しようとして、学習課題にそって、文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりしている。</p>
<p>二 まいのしゃしんのちがいをくらべよう</p>	<p>2</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>◎「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している</p>	<p>◎「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</p>	<p>・進んで二枚の写真のちがいを比べることを通して、学習課題にそって、二枚の写真の間にあったできごとを想像しようとしている。</p>

# 令和6年度 評価規準

<p>二 様子をよく見て、くわしく書こう</p>	<p>10</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。</p> <p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>◎「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けることができる。</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p> <p>◎「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。</p>	<p>・進んで、友達に自分が見つけたものの様子がわかるように書き表し方を工夫し、学習課題にそって、文章に対する感想を伝え合おうとしている。</p>
<p>言葉の文化④</p>	<p>1</p>	<p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。</p>	<p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。</p>		<p>・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づこうとし、学習の見通しをもって折句の文を作っている。</p>
<p>三 心にのこったところをしょうかいし合おう</p>	<p>7</p>	<p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。</p> <p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること</p> <p>◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもつこと</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。</p>	<p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p> <p>◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・進んで言葉や表現に着目しながらお話を読み、学習課題にそって繰り返し読むことで、初読の感想から自分の考えを深めようとしている。</p>

# 令和6年度 評価規準

<p>読書の広場③</p>	<p>5</p>	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。</p>	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・「お話しじゅつかん」を作るという活動に見通しをもち、進んで今までに読んできた本を振り返って読んだり、カード作りに取り組んでいたりにしている。</p>
<p>四 しつもんしたり答えたりして、つないで話し合おう</p>	<p>8</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。</p>	<p>・積極的に互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないで、学習課題にそって「クラスお楽しみ会」でする遊びを決めるために、グループで話し合おうとしている。</p>
<p>心がうごいたことを書こう</p>	<p>5</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。</p> <p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>・進んで言葉の書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、心が動いたことを短い言葉で書いたり友達の作品のよさを見つけようとしていたりしている。</p>

# 令和6年度 評価規準

<p>漢字の広場④</p>	<p>2</p>	<p>◎第1学年においては、学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>○第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>		<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって漢字を正しく使おうとしている。</p>
<p>一年生で学んだ漢字③</p>		<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き文や文章の中で使うこと。</p> <p>○第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>・積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文や文章を書くようとしている。</p>
<p>五 せつめいのくふうをたしかめて読み、せつめい書を書こう</p>	<p>12</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・進んで説明の工夫を見つけようとし、学習課題にそって、感じたことやわかったことをノートにまとめている。</p>

# 令和6年度 評価規準

<p>五 せつめいのくふうをたしかめて読み、せつめい書を書こう</p>	<p>7</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p>	<p>・進んで説明する順序に注意し、学習課題にそって、わかりやすく説明する文章を書こうとしている。</p>
<p>しを読もう</p>	<p>2</p>	<p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。</p>	<p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p>	<p>・積極的に文章を読んで感じたことやわかったことを共有し、学習の見通しをもって想像したことを発表しようとしている。</p>
<p>六 場面や人物の様子をそうぞうして、音読げきをしよう</p>	<p>11</p>	<p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。</p>	<p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・すすんで、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。</p>
<p>言葉の文化⑤</p>	<p>3</p>	<p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。</p>	<p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。</p>		<p>・すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づき、学習の見通しをもってかたるたを楽しもうとしている。</p>

# 令和6年度 評価規準

<p>じゅんじょに気をつけて せつめいしよう</p>	<p>4</p>	<p>◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考慮することができる。</p>	<p>◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている</p>	<p>・積極的に相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして、昔の遊びの遊び方について説明しようとしている。</p>
<p>言葉の広場⑤</p>	<p>3</p>	<p>◎文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。</p>	<p>◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。</p>		<p>・積極的に文の中における主語と述語との関係に気づき、学習の見通しをもって文を読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>漢字の広場⑤</p>	<p>2</p>	<p>◎第1学年においては、学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ○第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>		<p>・積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって、同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。</p>

# 令和6年度 評価規準

<p>七 思い出をくわしく書いて、読みかえそう</p>	<p>13</p>	<p>◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。</p> <p>◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>◎「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりできる。</p>	<p>◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。</p>	<p>◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>◎「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。</p>	<p>・粘り強く文章を読み返して、今までの学習を生かして、まちがいを直そうとしたり確かめたりしている。</p>
<p>言葉の広場⑥</p>	<p>3</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。</p>		<p>・積極的に、音や様子を表すことができる言葉があることに気づき、学習の見通しをもって文の中で使おうとしている。</p>
<p>漢字の広場⑥</p>	<p>2</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>○第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>		<p>・積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって、同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。</p>

# 令和6年度 評価規準

<p>一年生で学んだ漢字④</p>	<p>2</p>	<p>◎第1学年においては、学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>○第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫できること。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>・積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。</p>
<p>ハ 何が、どのようにかわったかに気をつけて読み、お話をしようかいしよう</p>	<p>16</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。</p> <p>◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。</p>	<p>◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・すすんで自分の体験と結びつけながらお話を読み、登場人物の行動や場面の様子に着目し、今までの学習を生かしてあらすじをまとめようとしている。</p>
<p>国語の学習 これまでこれから</p>	<p>2</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。</p> <p>◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にできる。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。</p> <p>◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>		<p>・すすんで経験したことから書くことを見つけ、今までの学習を生かして思い出したことや三年生でどんな学習をしたかを共有しようとしている。</p>